

●北京外国语学院 沈茅一 主编

日本語

3



日 本 语

(3)

沈茅一(主编) 续三义

鲍显阳 黄菊花 朱春跃



高等教育出版社

内 容 提 要

本书为初学者编写，编者广泛吸收国内外广播函授教学经验，并根据我国学习人员的实际情况编成。定稿前经过试用和修改，所选内容均为日语入门之必需。

本书可供各种初学日语的人员使用。

日 本 语

(3)

北京外国语学院日语系

沈茅一 主编

高 等 教 育 出 版 社 出 版

新华书店总店北京科技发行所发行

吉 林 省 长 春 新 华 印 刷 厂 印 装

*

开本850×1168 1/32 印张8.875 字数220 000

1991年4月第1版 1991年4月第1次印刷

印数 0 001—3 615

ISBN 7-04-003257-0/H·364

定价 3.25 元

前 言

本书是应成年人自学日语的需要而编写的。全书共分六册，一、二册为初级教程，主要学习基础语音、语法、词汇等，课文采用会话体，在内容上主要是日常生活的场面，力求兼顾语法体系和交际需要，每课附有简单的日常生活用语。三、四册为中级教程，主要对一、二册所学的语法、词汇等进行巩固、补充和提高，并使之系统化。这一阶段的课文编写，选用了各类生活、知识性的浅显易懂的文章，逐步增加有关日本情况的内容，并根据需要，对选用的文章部分地进行了删减、改写。五、六册为高级教程，侧重于提高阅读、理解及翻译、表达的能力，课文全部选自原文。包括语言、文化、科技、自然科学、人物介绍、游记以及小说、随笔、评论、报导等各种体裁的文章。考虑到自学的困难，对原文中过于生僻的词语或较抽象的表达进行了适当的删减和改写。全部六册学完之后，可达到大学本科生从头学起班三年级上学期的水平。

为了帮助学习者掌握所学知识，本书尽可能详细地进行了注释，并针对难点、重点安排了“语法和句型”，第三册开始增加“词和词组”，以便进行系统的语法、句型、词汇的学习。

每一课都安排有形式多样的练习，并在每一阶段安排了“自我测试题”，以便读者自己复习、检查掌握的情况。（在一、二册中还编有复习本阶段语法和句型的复习课）。

本书配有教学参考书，讲解语音部分的学习重点及方法，并编入课文参考译文、习题答案、自我测试题答案及课文总词汇表、语法及句型索引等，为读者使用本书进行自学提供了更多的方便。

从第三册起，为扩大词汇量和知识面，提高阅读理解的能力和速度，每课都安排了一至二篇难度略低于课文的“课外阅读”，其中的难点以“课外阅读注释”的形式予以解答。此外，三、四册每课还安排了有关日本和日本语的“小知识”。

本书正式出版前曾在北京外国语学院函授班、夜大学者公外教学中试用多年，并在此基础上经过反复讨论、修改而成。它除了适用于初学者外，也适用于已有一定日语基础的自学者及日语专业的学生、第二外语学习者；还可用作日语教师备课的参考。

本书曾数度易稿，书中的课文注释、语法、句型、词汇的选择分类、用法解释及对比归纳等集中了作者多年来的教学经验，吸收了当前国内外日语界的一部分最新研究成果，同时，还得到了我院几任日本文教专家的帮助和指导。但限于作者的水平，加之编写自学教材是一次新的尝试，因此书中难免有疏漏、不妥之处，诚恳希望广大读者和同行提出宝贵意见。

本书由北京外国语学院副教授沈茅一主编，参加编写的还有讲师鲍显阳、续三义、黄菊花、朱春跃。同时先后得到了我院文教专家新川忠、岩上治、远藤明生、林哲也等先生的帮助，在此敬表诚挚的感谢。

编 者

1990年1月

目 录

第 1 课 日本	1
生词	2
课文注释	4
语法和句型	6
一、格助词 から	6
二、～という～	7
三、～を～といいます	8
四、格助词 に (7)	8
五、日语的时 (テンス)	9
词和词组	13
一、わかれる	13
二、ほか	14
练习	15
课外阅读 日本	16
课外阅读注释	18
小知识 日本都道府县的称谓及位置	18
第 2 课 北京	20
生词	21
课文注释	23
语法和句型	25
一、助动词 である	25
二、副助词 ばかり	26
三、～ために	27
四、～にともなって	27
五、～ことでしょう	28

词和词组	28
一、また	28
二、いろいろ	29
三、いっそう	30
四、満ちる	30
练习	30
课外阅读 わたしの家族	34
课外阅读注释	35
小知识 我国直辖市、省、自治区及省会、自治区 首府的日语读法	35
第3课 手紙	38
生词	39
课文注释	40
语法和句型	42
一、接头词“お”与“ご”	42
{ お + 动词连用形 + ください { ご + サ变动词词干 + ください	
二、副助词 は	43
三、何も～ない	44
四、接尾词 向き	45
五、～ては～	45
六、～うちに	46
七、日语动词的体（アスペクト）	47
八、感叹词	50
词和词组	52
さすがに	52
练习	53
课外阅读 夏の手紙	57

课外阅读注释	58
小知识 日文书信的写法	58
第4课 大きな数の読み方	62
生词	63
课文注释	64
语法和句型	65
一、接尾词 ごとに	65
二、副助词 ずつ	67
三、补助动词 いく和くる	68
词和词组	69
つまり	69
练习	69
课外阅读 計算の言葉	72
课外阅读注释	73
小知识 日语的数量词	73
自我测试题 (一)	76
第5课 季節の移り変わり	79
生词	80
课文注释	82
语法和句型	84
一、复合动词 ～はじめる	84
二、格助词の (2)	84
三、复合动词 ～まわる	85
四、接头词 まっ	86
五、接尾词 中	87
六、めったに～ない	88
七、接续助词 て	89
八、格助词 で	92

词和词组	95
一、溶ける和溶かす	95
二、楽しむ	96
练习	96
课外阅读 天気予報	99
课外阅读注释	100
小知识 日语常用数量词的读法	101
第6课 象の目方	104
生词	105
课文注释	107
语法和句型	109
一、接尾词 がる	109
二、～はず（がない）	110
三、接尾词 かた（方）	111
四、格助词 まで	112
五、～ように	113
六、だれひとり～ありません	114
七、から和に、によって	115
八、日语构词法	116
词和词组	120
一、さっそく	120
二、すっかり	120
三、しかたがない	121
四、ますます	122
五、のる和のせる	122
练习	123
课外阅读 矛盾	126
课外阅读注释	126

小知識 日语的标点符号	127
第7课 日本の家	129
生词	130
课文注释	132
语法和句型	133
一、～には～が多い	133
二、格助词 に (8)	134
三、(疑问词) + にでも 和 (疑问词) + にも	134
四、接尾词 やすい	135
五、接续助词 ので 和 から	136
六、～にくらべて	137
七、日语的指示词	138
词和词组	138
一、いえ 和 うち	138
二、ふつう	139
三、とくに	140
四、わりあい	140
练习	140
课外阅读 餅つき	144
课外阅读注释	145
小知識 日本历史上各个时代的读法	145
第8课 たなばた	147
生词	148
课文注释	150
语法和句型	152
一、～として	152
二、副助词 も	152
三、まるで～ようだ	153

四、どうしたことでしょう	153
五、动词连用形重叠+に	154
六、なければならなくなる	154
七、～から～にかけて	155
八、～にあたる	155
九、～をした（体言）	156
十、并列助词 とか	156
十一、日语的连体词	157
词和词组	159
一、夢	159
二、めぐる	160
三、来る日も来る日も	161
四、どこからか	161
练习	162
课外阅读 ひなまつり	164
课外阅读注释	165
小知识 有关时间的说法与“に”	165
自我测试题（二）	167
第9课 なぜか——理科——	170
生词	172
课文注释	175
语法和句型	176
一、～によって	176
二、格助词 と（4）	177
三、复合动词～あう	177
四、～でも（ない）～でもない	178
五、～わけだ	179
词和词组	179

一、大勢	179
二、増える和減る	180
三、気分	181
四、気をつける	182
五、みるみるうちに	182
六、やわらぐ	183
练习	183
课外阅读 星の世界	186
课外阅读注释	187
小知识 常用度量衡单位	187
第10课 体温と衣服	190
生词	191
课文注释	193
语法和句型	196
一、～ようにできています	196
二、接尾词 さ	197
三、～に対して	198
四、～ないように(する)	198
五、补助动词 おく	199
六、～だけでなく	200
七、接尾词 っぽい	200
八、のだ	201
词和词组	204
一、そこで	204
二、それで	205
三、なるべく	206
四、たえず	207
五、そのうえ	207

练习	208
课外阅读 皮膚の話	212
课外阅读注释	214
小知识 日本人家族之间关系的称谓	215
第11课 文字のはなし	217
生词	218
课文注释	220
语法和句型	222
一、けっして～ない	222
二、わけではない	222
三、～一方である	223
四、～より（も）～方が～	223
五、复合动词 ～つづける	224
六、形式体言	224
词和词组	230
一、あるいは	230
二、残す和残る	230
三、生まれる	231
四、つける	231
五、はるかに	232
练习	232
课外阅读 推敲	236
课外阅读注释	237
小知识 日语汉字主要偏旁部首	237
第12课 製紙工場の見学	239
生词	241
课文注释	243
语法和句型	246

一、格助词 の (3)	246
二、～ (の) に (は) ～必要だ	247
三、～ようになっている	247
四、(名词) を (自动词)	248
五、副助词 も (2)	249
六、～のかわりに	250
词和词组	251
一、以上	251
二、ころ与ごろ	252
三、もちろん	253
四、いや	253
练习	254
课外阅读 魚市場の見学	258
课外阅读注释	259
小知识 日语的拟声词与拟态词	261
自我测试题 (三)	263

第1課 日 本

日本はアジア大陸の東にある島国で、本州、北海道、九州、四国の、四つの大きな島と、多くの小さな島からなりたっています。面積は三十七万平方キロメートルで、人口は約一億二千万人です。

また、日本の国は、都・道・府・県という、四つの大きな行政組織にわかれています。都は一つ（東京都）、道は一つ（北海道）、府は二つ（京都府・大阪府）、県は四十三あります。

本州は一番大きな島で、ふつう五つの地方に分けます。東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国地方です。

東北地方は、本州の東北部にある地方です。東北地方には六つの県があります。

関東地方は、本州の東側にある地方で、ここには東京都のほか、六つの県があります。

中部地方は本州の中部にある地方で、九つの県があります。

京都府、大阪府のある地方を近畿地方といいます。この地方には、そのほか五つの県があります。近畿地方というのは、首都に近い地方という意味です。昔、日本の首都は京都にあったので、こうよんでいるのです。

中国地方は、本州の西南部にある地方です。この地方は、京都と九州の中間にあるので、こうよんでいます。この地方には五つの県があります。

九州は三番目に大きな島で、ここには七つの県があります。

四国は四番目に大きな島で、ここには四つの県があります。

九州の南に沖縄諸島があります。ここには県が一つ、沖縄県

があります。

北海道は、本州の北にある、二番目に大きな島です。ここには県はありません。

また、日本は細長い国ですが、中央に山脈が走っています。それで日本の気候は南北で違うだけでなく、日本海側と太平洋側とでもたいへん違います。

夏には太平洋から南東の季節風が、冬にはアジア大陸から北西の季節風が吹いてきます。それで太平洋側は夏には雨が多く、日本海側は冬には雪が多く降っています。このように日本は地域によって地形や気候が様々です。

(根据“日本語教育学会 《日本事情シリーズ 日本の地理》”改写)

【生词】

アジア ①	(名)	亚洲
大陸〔たいりく〕 ①⑥	(名)	大陆
東〔ひがし〕 ③	(名)	东, 东方
島国〔しまぐに〕 ②	(名)	岛国
本州〔ほんしゅう〕 ①	(名)	本州
北海道〔ほっかいどう〕 ③	(名)	北海道
九州〔きゅうしゅう〕 ①	(名)	九州
四国〔しこく〕 ②	(名)	四国
大きな〔おおきな〕 ①	(连体)	大的
島〔しま〕 ②	(名)	岛, 岛屿
小さな〔ちいさな〕 ①	(连体)	小的
なりたつ〔成り立つ〕 ⑥	(自五)	组成, 构成
面積〔めんせき〕 ①	(名)	面积
平方〔へいほう〕 ⑥	(名)	平方

キロメートル ③	(名)	公里
約〔やく〕 ①	(副)	约
人〔にん〕	(接尾)	……人
国〔くに〕 ⑥⑦	(名)	国家
都〔と〕 ①	(名)	都
道〔どう〕 ①	(名)	道
府〔ふ〕 ①	(名)	府
県〔けん〕 ①	(名)	县
行政組織〔ぎょうせいそしき〕⑤	(名)	行政区划
わかれる〔分かれる〕 ③	(自下一)	划分, 区分
東京都〔とうきょうと〕 ③	(名)	东京都
京都府〔きょうとふ〕 ③	(名)	京都府
大阪府〔おおさかふ〕 ④	(名)	大阪府
わける〔分ける〕 ②	(他下一)	使…划分, 分
東北地方〔とうほくちほう〕 ⑤	(名)	东北地方
関東地方〔かんとうちほう〕 ⑤	(名)	关东地方
中部地方〔ちゅうぶちほう〕 ④	(名)	中部地方
近畿地方〔きんきちほう〕 ④	(名)	近畿地方
中国地方〔ちゅうごくちほう〕⑤	(名)	中国地方
東北部〔とうほくぶ〕 ④③	(名)	东北部
地方〔ちほう〕 ②	(名)	地方, 地区
東側〔ひがしがわ〕 ⑩	(名)	东侧, 东边
中部〔ちゅうぶ〕 ①	(名)	中部, 中间
京都〔きょうと〕 ①	(名)	京都
昔〔むかし〕 ⑩	(名)	从前, 早年, 往昔
西南部〔せいなんぶ〕 ③	(名)	西南部
中間〔ちゅうかん〕 ⑩	(名)	中间